風水害［３－８－１］　火災・事故［３－８－１］　震災［３－７－１］

［資料］　救助法関係様式

様式１

被 害 状 況 報 告

（市町村→県）

市町村＿＿＿＿＿＿＿＿　　ＴＥＬ　　（　　）

記入者所属・職＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ　　（　　）

一般り災関係　　**月　　日　　時　　分現在累計**

被害の状況				り災者数（人）	備考（り災者氏名、年齢、住所、り災の原因等）
人的被害	死者				
	行方不明				
	負傷	重傷			
		軽傷			
		小計			
	計				
住家の破損	棟数	全壊、全焼又は流出			既にとった救助措置
		半壊または半焼			
		一部破損			
		床上浸水			
		床下浸水			
	世帯数及び人員	全壊、全焼又は流出	世帯		今後の救助措置見込
			人員		
		半壊又は半焼	世帯		
			人員		
		一部破損	世帯		
			人員		その他必要事項
		床上浸水	世帯		
			人員		
		床下浸水	世帯		
			人員		
災害発生年月日					平成　　年　　月　　日（　）

様式２

災害救助の実施状況（災害救助法適用　　年　　月　　日）

区分			避難所		応急仮設住宅		炊出	飲料水		被服寝具等				医療及び助産					救出		応急修理	学用品		捜索	埋葬	死体の処理	障害物の除去
			カ所数	収容実人員	設置戸数	完成戸数	給食実人員	対象人員	給水台数	世帯数	被服	寝具	その他	医療班		医療機関		分べん者数	救出人員	行方不明	対象数	小学生	中学生	死体数	埋葬数	処理数	対象世帯数
発月日時分	発信者氏名	月日時現在	(カ所)	(人)	(戸)	(戸)	(人)	(人)	(台)	(世帯)	(点)	(点)	(点)	(班)	患者数(人)	機関数(件)	患者数(人)	(人)	(人)	(人)	(世帯)	(人)	(人)	(体)	(体)	(体)	(世帯)

様式３

送付先　　山口県健康福祉部厚政課（担当者） FAX　083－933－2739
発信者 TEL FAX
書類枚数　　枚
災害救助法による特別基準の設定について
このことについて、下記のとおり特別基準の必要が生じたので、協議します。 記 １　救助の種類 ２　特別基準 ３　特別基準の理由

様式４

災害救助法備蓄物資出納帳

備蓄物資	毛　　布				タオルケット				防水シート				給水ポリ袋			
年月日	受入数量	払出数量	現在数量	払出先	受入数量	払出数量	現在数量	払出先	受入数量	払出数量	現在数量	払出先	受入数量	払出数量	現在数量	払出先

様式５－１

災害救助の実施状況（災害救助法適用　　年　　月　　日）

区分			避難所		応急仮設住宅		炊出	飲料水		被服寝具等				医療及び助産					救出		応急修理	学用品		捜索	埋葬	死体の処理	障害物の除去
			カ所数	収容実人員	設置戸数	完成戸数	給食実人員	対象人員	給水台数	世帯数	被服	寝具	その他	医療班		医療機関		分べん者数	救出人員	行方不明	対象数	小学生	中学生	死体数	埋葬数	処理数	対象世帯数
発月日時分	発信者氏名	月日時現在	(カ所)	(人)	(戸)	(戸)	(人)	(人)	(台)	(世帯)	(点)	(点)	(点)	班数(班)	患者数(人)	機関数(件)	患者数(人)	(人)	(人)	(人)	(世帯)	(人)	(人)	(体)	(体)	(体)	(世帯)

様式５－２

救 助 実 施 記 録 日 計 票

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月　　日		責任者職氏名	㊞
救助の種類	記		事

（記入上の注意）

1　日毎に各救助を実施するにあたって必要最小限度の事項が記載されているものであればよい。

2　救助実施状況を県へ報告することになっており、次の事項については、少なくともメモしておくこと。

（救助の種類）

（1）	避難所の設置	箇所数、収容人員
（2）	応急仮設住宅の設置	設置（希望）戸数
（3）	炊出しその他による食品の給与	箇所数、給食数、給食人員
（4）	飲料水の供給	対象人数
（5）	被服寝具その他の生活必需品の給与	品目別給与点数、給与世帯数
（6）	医療及び助産	班数、医療機関数、患者数、分べん者数
（7）	災害にかかった者の救助	救出人員、行方不明者数
（8）	災害にかかった住宅の応急修理	対象世帯数
（9）	学用品の給与	小中学校別対象者及び給与点数
(10)	埋葬	埋　葬　数
(11)	死体の捜索	死体処理数
(12)	死体の処理	〃
(13)	障害物の除去	対象世帯数

3　様式については、特にないので左記様式を参考にしてください。

様式６

救助の種目別物資受払状況

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

救助の種目別	年月日	品　目	単位 呼称	摘　要	受	払	残	備　考

（注）

1　「摘要」欄に購入又は受払先及び払出し先を記入すること。

2　「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入する。

3　各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。

　なお、物資等において都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

4　救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとに使用状況を記入すること。

　なお、「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

様式７

避　難　所　設　置　及　び　収　納　状　況

市町村＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

避難所の名称	種　　別	開　設　時　期	実　人　員	延　人　員	物品使用の状況		実支出額	備　　考
					品　　名	数　量		
		月　日～　月　日	人	人			円	

（注）　１「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。

２　物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。

３　他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

様式８

応　急　仮　設　住　宅　台　帳

市町村＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

応急仮設住宅番号	世帯主氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着工月日	竣工月日	入居月日	実支出額	備考
		人			㎡					円	

（注）　１　「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に附した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
２　「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
３　「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
４　「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
５　「敷地区分」欄は、公私有別とし、有償無償の別を明らかにすること。
６　「備考」欄は、入居後における経緯を明らかにしておくこと。

様式９

炊　出　し　給　与　状　況

市町村名	

炊出し場の名称 日　　付						備　　考
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					
	朝					
	昼					
	夜					合　　計
合　　計 （延給食数）						
給食延人員						
実 支 出 額						

様式 10

飲　料　水　の　供　給　簿

市町村＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

供給月日	対象人員	給水用機械器具								実支出額	備考
		名称	借上			修繕			燃料費		
			数量	所有者	金額	修繕月日	修繕費	修理の概要			
					円		円		円	円	
計											

（注）　1「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
　　2　物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。

様式 11

物　資　の　給　与　状　況

市町村名	

住家被害程度区　分	世帯主氏名	世帯構成人員	給与月日	物資給与の品名					実支出額	備　　考
				布団	毛布	衣類	日用品	○○○		
計	全　　壊		世帯							
	半　　壊		世帯							
	床上浸水		世帯							

災害救助物資として上記のとおり給与しました。

平成　　年　　月　　日

（給与責任者職名）　　㊞

（注）1　「住家の被害程度区分」欄には、全壊（焼）流失又は半壊（焼）床上浸水の別を記入すること。

2　「給与年月日」欄には、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。

3　「物資給与の品名」欄には、数量を記入すること。

様式 12

救　護　班　活　動　状　況

○ ○ 救 護 班

班長：医師氏名　　印

月　日	市町村名	患 者 数	措　置　の　概　要	死体検索数	修 繕 費	備　考
		人		体	円	
計						

（注）「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

様式 13

病院、診療所医療実施状況

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

診療機関名	患者氏名	診療期間	病　　名	診療区分		診療報酬点数		金　　額	備　　考
				入院	通院	入　院	通　院		
		月　日				点	点	円	
計　機関	人								

（注）「診療区分」欄は該当欄に○印をつけること。

様式 14

助　　産　　台　　帳

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

分べん者氏名	分べん日時	助産機関名	分べん期間	金　　額	備　　考
			月日～月日	円	
計					

様式 15

被　災　者　救　出　状　況　記　録　簿

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年月日	救出人員	給水用機械器具								実支出額	備考
		名称	借上費			修繕費			燃料費		
			数量	所有者(管理者)氏名	金額	修理月日	修繕費	修繕の概要			
月　日	人				円	月　日	円		円	円	
計											

（注）　1　他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。
　　2　借上費については、有償無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。
　　3　「修繕に概要」には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。

様式 16

住 宅 応 急 修 理 記 録 簿

			市町村名	
世帯主氏名	修理箇所概要	完了年月日	実支出額	摘要
計　　世帯				

（注）「摘要」欄は、業者名を記入すること。

様式 17

生　業　資　金　貸　付　台　帳

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

貸付けを受けた者		保　証　人			事業計画概要	貸付期間	貸付金額	備　考
住　所	氏　名	住　所	氏　名	職　業				
							円	
	計　世帯							

（注）1　「貸付期間」欄は、「　年　月　日まで　年　月間」を記入すること。

2　「備考」欄は、償還状況等のてん末を明らかにしておくこと。

※　現在は災害援護資金があり、実施されていない。

様式 18

学　用　品　給　与　状　況

市町村名	

学校名	学年	児童（生徒）氏名	親権者氏名	給与月日	給与品の内訳										実支出額	備考
					教科書					その他学用品						
					国語	算数	理科	社会	その他	鉛筆	ノート					
小学校		人													円	
中学校		人													円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違なし。

平成　　年　　月　　日

給与責任者（学校長）

氏名　　印

様式 19

埋　　葬　　台　　帳

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿

死亡年月日	埋葬年月日	死亡者		埋葬を行った者		埋葬費				備考
		氏名	年令	死亡者との関係	氏名	棺(付属品を含む)	埋葬又は火葬料	骨箱	計	
	人					円	円	円	円	
計		人								

（注）　1　埋葬を行った者が、市町村長であるときは遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
　　2　市町村長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
　　3　埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

様式 20

死　体　処　理　台　帳

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

処理年月日	死体発見時及び場所	死亡者氏名	遺族		洗浄等の処理			死体の一時保存	検案料	実支出額	備考
			氏名	死亡者との関係	品名	数量	金額				
							円	円	円	円	
計		人						円	円	円	

様式 21

障 害 物 除 去 の 状 況

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住家被害程度区分	氏　　名	除去に要した期間	実支出額	除去に要すべき状態の概要	備　　考
		月日～月日	円		
半壊（焼）	世帯		円		
床上浸水	世帯		円		

様式 22

輸　　送　　記　　録　　簿

市町村名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

輸送月日	目　的	輸送区間（距離）	借上等			修繕					燃料費	実支出額	備　考
			使用車両等		金額	故障車両等		修繕月日	修繕費	故障の概要			
			種　類	台　数		名称番号	所有者氏名						
					円				円				
計													

（注）　1　「目的」欄は主たる目的（また救助の種類名）を記入すること。
　　2　都道府県又は市町村の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
　　3　借上車両等による場合は、有償無償を問わず記入すること。
　　4　借上等の「金額」欄には、輸送費又は車両等の借上費を記入すること。
　　5　「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

様式 23

令第 10 条第１号から第４号までに規定する者の従事状況

職種	従業員数		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額				算定基準による算定額	備考
	実人員	延人員			日当	旅費	時間外勤務手当	計		
医師及び歯科医師	人	人			円	円	円	円	円	
薬剤師										
保健師・助産師・看護師										
土木技術者建築技術者										
大工左官及びとび職										
計										

（注）「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式 24

令第 10 条第 5 号から第 10 号までに規定する者の従事状況

業　　者		従　業　員　数		従事場所（市町村）	従　事期　間	実　支出　額	備　考
業　　種	数	実人員	延人員				
土木建築業者 地方鉄道業者 起動経営者 自動車運送業者 船舶運送業者 港湾運送業者		人	人			円	
計							

（注）「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式第 25

扶　助　金　の　支　給　状　況

扶助金種類	件　数	実　支　出　額	積　算　基　礎	備　　考
		円		
計				

（注）1　「積算基礎」欄には支給基礎額及び支給額の積算基礎等を記入すること。

2　「備考」欄には、扶助金の支給を必要とした原因等の概要を記入すること。

様式第 26

損　失　補　償　費　の　状　況

種　　類	実支出額	積　算　基　礎	備　　考
	円		
計			

（注）1　「種類」欄には、法第 26 条の管理、使用、保管及び収容の別に区分して記入すること。
　　2　「積算基礎」欄には、損失補償の額の積算基礎を記入すること。
　　3　「備考」欄には、損失補償の概要を記入すること。

様式第 27

法第 34 条の補償費の状況

区分	実支出額			備考
	員数	単価	金額	
1 人件費		円	円	
⑴ 旅費				
⑵ 役務費				
⑶ 時間外勤務手当及び深夜手当				
2 救護所設置費				
⑴ 消耗機材費				
⑵ 借上料				
3 救護諸費				
⑴ 薬剤費				
⑵ 衛生材料費				
⑶ その他の消耗品費				
4 輸送費				
⑴ 輸送費				
⑵ 修繕費				
⑶ 借上料				
⑷ 燃料費				
5 人夫賃				
⑴ 医療				
⑵ 助産				
⑶ 死体処理				
6 扶助費				
7 事務費				
⑴ 消耗品費				
⑵ 電話料				
⑶ 電報料				
計				

（注）「区分」欄には、適宜必要な欄を設けて費目別に記入すること。

様式第 28

災害救助法による特別基準設定一覧表

救助の種類	市町村名	内容	理由

様式 29

被　害　状　況　報　告

市町村名　　ＴＥＬ　　（　　）

記入者所属・職　　氏名　　ＦＡＸ　　（　　）

月　　日　　時　　分現在

り災者氏名		年　令		性　別	
住　　所					
被　害　状　況	住家の全壊・住家の半壊・死亡・重傷				
詳しいり災状況					

様式30

被災者台帳

番号	地区名	世帯主名	職業	世帯人員の内訳																														人的被害				被害世帯内訳						市民税			応急仮設住宅	住宅応急修理	障害物の除去	他施策活用状況						備考
				総員			小学生															中学生									幼児			死亡	行方不明	重傷	軽傷	被保護世帯	身障世帯	老人世帯	母子世帯	要保護世帯	その他の住宅	非課税	均等割	所得税				世帯構成資金	住宅金融公庫	自作農維持資金	その他	親戚等の援助	災害援護資金	
							1年		2年		3年		4年		5年		6年		小計			1年		2年		3年		小計																												
				男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計																							
計		世帯																																																						

(注) 1　本台帳は住家の被害区分毎に作成すること。（全壊（焼）、流出、半壊（焼）、床上浸水）
2　世帯順は、部落順に記載し一連番号を付すること。